

2024年7月10日

当院で2009年～2023年に診断した原発性肝がんの
臨床的特徴と治療経過に関する検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、2009年～2023年の間に原発性肝がんを診断し、当院で治療を行った患者さんについて、その臨床的特徴や治療方法、予後を調べています。

本研究では、原発性肝がんの予後を向上させるための今後の課題を明らかにすることを目的としています。特に、近年増加している代謝異常関連脂肪性肝疾患を背景とした肝細胞がんの臨床的特徴を詳細に調査することで、こうした肝がんを早期に診断するためにはどのような定期検査を提供するのが最適であるかについて検討し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2009年1月～2023年12月の間に原発性肝がんを診断され、当院で入院治療を行った18歳以上の方

◆研究に使用される情報◆

- 肝がん診断時の年齢、性別、背景肝疾患の成因、肝機能（Child-Pughスコア）、血液検査所見（血小板数、T-Bil、AST、ALT、AFP、PIVKA-II、AFP-L3分画）、腹部画像所見（腹部エコー・腹部CT・腹部MRI）、肝組織所見、診断前のサーベイランス検査の実施の有無
- 肝がんの分類（肝細胞がん/肝内胆管がん/混合型肝がん/その他）および臨床病期（BCLCステージ、TNM分類）
- 肝がんに対する治療内容
- 最終生存確認日（死亡例では死亡日・死因）

◆情報の研究利用開始日◆

2024年9月1日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

消化器内科 研究責任者 上野 真行

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明